

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 3 年 4 月 2 7 日 (火) 1 4 時 3 0 分 ~ 1 6 時 1 5 分		
会 場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 6 名	市職員 4 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名 : 別添名簿のとおり ) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	1 自己紹介		
	2 部会長、副部会長選出		
	3 前回の振り返り		
	4 障害福祉サービス従事者の業務意識に関するアンケート		
	5 今年度のケアマネジメント部会の取り組みについて		
	6 その他 開催回数の確認		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	1 自己紹介 別紙名簿参照 ・今年度第 1 回目の部会開催のため、自己紹介していただく。		
	2 部会長、副部会長選出 ・部会長 : 改田さん、副部会長 : 脇本さん 選出する。		
	3 前回の振り返り ・サービス従事者の業務意識に関するアンケートについて		
	4 サービス従事者の業務意識アンケートについて		

別紙資料参照

- ・アンケート集計については、誤字の修正と個人情報が入らない内容以外は、そのままのアンケート回答内容を掲載。
- ・アンケート結果の報告方法については、事業所にはデータ（PDF）で報告し、PC（アドレスがない）のない事業所については、紙媒体で郵送し報告とする。

※報告は、お礼文を添えてGW明けを予定。

5 今年度のケアマネジメント部会の取り組みについて

- ・今回のアンケート結果を受けてどのように部会で活かしていくのか。インシデントプロセス法の研修がよかった。
- ・人材育成がケアマネ部会の目的でもある。部会で、職員を育てていくことができればと思う。

○各事業所で、どのように職員研修を行っているのか確認する。

（以下各事業所内での取り組み内容）

- ・介護保険事業所で特定事業所加算をとっているため、少人数で勉強会を予定している。部会で部会員を育ててもらえたら、事業所に持ち帰り職員に伝えていくことができる。
- ・利用計画、個別支援計画がリンクしているのか。職員によって支援方法が異なる。全職員で支援のバラつきがなく、共有していくこと、勉強する時間を確保していくことが必要。
- ・入所施設であり、情報交換する場や機会がない。他施設との交流があれば、施設での悩みが解決するきっかけになると思う。
- ・ケース会議は毎日行っている。なぜ、職員がそのような対応・行動をとったのか、振り返りをしている。行動の気づきが大切なので職員には、気づいてもらうようにしている。また、窒息事故が起こったため、消防を呼んで救急救命研修を実施。インシデントプロセス法で行うとためになる。他の事業所と交流ができると勉強になる。
- ・強制的に研修に参加してもらっている。外部の先生を呼んで、事例検討を行う。事例検討は毎月行っていることもあり、困っていることが少なくなってきた。職員で知恵を出し合うことが必要かと思う。

（部会での取り組み内容について）

- ・事業所で困っている事例を持ち寄ってケアマネ部会で検討していく。事例検討会を部会で行い、部会員が学んだことを各事業所に持ち帰り落とし込んでいく内容はどうか。
- 事例検討を行うとして、自立支援協議会本会議でどのような報告をしたらいいのか。取り組みが事例検討だけでいいのか。
- ケアマネ部会で現場リーダー、もしくはリーダーになるであろう方に参加してもらうことで、事例検討方法を身につけてもら

う。学んだ内容を各施設で取り組むことで人材育成になるのではないか。

- ・インシデントプロセス法を身につけてもらうことができれば、部会として有意義な取り組みになるのではないのか。
- 各事業所で新人職員が入ってきた時、どのような研修を行っているのか。(以下各事業所内での取り組み内容)
- ・新人研修は特にしていない。県で行う初任者研修に参加しているぐらい。現場に入って覚えてもらい、困った時に手を差し伸べる程度。現場にすぐに入ってもらいが、ほったらかしにしないことが大切。自分で感じる事、考えることが大切になる。マニュアルは特にない。
- ・施設内での研修は特になく、外部研修に参加している。研修あるなしに関わらず、自分で気づいてもらう・感じてもらうことができるしかけは必要だと思っている。
- ・よほど大きな施設以外は、施設内での研修は難しいと思う。
- ・大きな法人でないと内部研修はなかなかできない。
- 事例検討会と言うよりは、人材育成をメインとした事例検討会を考えている。
- インシデントプロセス法を部会で学び、事業所に持ち帰って継続的に人材を育てていくことにプラスしての取り組みが、部会として必要ではないか。

※会議時間が来てしまったため、次回部会での取り組み内容を協議。コア会議にてロードマップを検討予定とする。

#### 6 その他

- ・ケアマネ部会開催回数について確認。  
年12回。毎月第4火曜日実施とする。

今回確認事項	①	自己紹介
	②	部会長、副部会長選出
	③	前回の振り返り
	④	サービス従事者の業務意識アンケートについて
	⑤	今年度のケアマネジメント部会の取り組みについて
	⑥	その他

次回検討課題	① 来年度の取り組みについて
	② その他
次回開催日時	令和3年5月25日（火） 14:30～15:30
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第1回	ケアマネジメント部会
日 時	令和3年4月27日（火）14時30分～16時15分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明 (欠)	
② 脇本 浩行	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	

(市職員)

① 野村 圭一	② 佐々木 和哉
③ 稲葉 亮	④ 長草 梨香

(事務局)

① 石川 博之	② 西岡 きくの
③ 橋本 花実	④ 福田 有輝
⑤ 野々山 勝己	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第2回	ケアマネジメント部会	
日時	令和3年5月25日（火）14時30分～16時00分		
会場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 5名	市職員 4名	事務局 5名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り（名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 アンケート結果の報告について		
	3 今年度のケアマネジメント部会の取り組みについて		
	4 その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	1 前回の振り返り ・ 部会長、副部会長選出。 ・ サービス従事者業務意識アンケートについて ・ 今年度の部会の取り組みについて		
	2 アンケート結果の報告について ・ 集計結果は、データで報告。PC（アドレス）のない事業所については紙媒体にて郵送する。		
	3 今年度の部会の取り組みについて（別紙コア会議資料あり） ・ 上半期では、インシデントプロセス法を用いた事例検討会を		

検討し、下半期では精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築について検討予定。

○上半期の予定

6月（1回目）、熊谷先生の講義。講義（30分）と事例検討会（60分）を予定。

7月 各事業所で実施した感想・課題等の報告

8月（2回目）、部会内で事例検討会を行う。

9月（3回目）、外部事業所の参加を募り、事例検討会を行う。

- ・部会でインシデントプロセス法を学び、手法を各事業所に持ち帰ってもらい、人材育成を行う（参加者はリーダーもしくは、リーダー候補になる方を対象。各事業所1・2名で上限は、10～15名程）

- ・インシデントプロセス法を学ぶ時間として、1時間45分程あれば可能。

- ・部会員が1回熊谷先生の講義を学び、2回目以降は熊谷先生以外でファシリテーターの役割を学ぶ。

- ・事例は大人・子どもどちらでも可。

→事例提供は、各事業所に確認して提出とする。（6/4までに）

- ・9月の事例検討会については、日程・会場等はコア会議にて調整予定。

○下半期の予定

- ・地域包括ケアシステムに向けて、どのような内容・手順で進めていくのか検討。（地域包括ケアシステムの情報については、地域福祉課より順次内容が分かり次第、コア会議にて情報提供をしていただく予定）

- ・地域包括ケアシステム構築において、現時点でどのようなメンバーで行うのがよいのか外部の人材を入れていくことがよいのか、何とも言えない。何が不足していて、どのような対応をしていくのかも、手探り状態。

- ・考え方としては2点か。1つは、入院している方が、地域で暮らしていく方法について考えていく。2つ目は地域に住んでいる精神障害の方が地域で暮らしやすくなるためには、という視点。しかし、どのように進めていくのが難しい。

- ・地域移行（3ヶ月の入院期間後）を考える時、ドクターやワーカーがいると理解しやすいか。

- ・地域移行の事例は少ない。支援が必要な方は、年単位で入院している方を支援していくイメージ。

- ・病院を出る時は、自宅というよりはグループホームに入居か。

- ・症状が安定したら退院となるが、入院が長くなると地域で生活するイメージがもてなくなってしまう。

- ・実際の成功した事例・失敗した事例を上げて、その要因を分析

	<p>していくことが必要か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、精神の方を地域で支援するためにということで、先進地として、浜松市に見学に行ったことがある。先進事例を学びながら、進めていく方法が遠回りのようで近道となる。他市町では、地域移行支援部会がある。出向いて地域移行についての事例を学びに行くことも必要か。</li> <li>・医療・保健分野と連携していくことが必要。</li> <li>・ヘルパー支援に入っているが、4割の方が精神疾患のある方。支援の在り方が難しい。</li> <li>・今後、誰が何を行っていくのか役割分担も必要になってくるか。</li> <li>・日進市として、地域移行で支援するのかまたは、すでに地域で住んでいる方を住みやすくしていくために支援していくのかで内容が違って来る。(事例もどれほどあるのかは不明)</li> </ul> <p>○地域移行支援の事例があると分かりやすい。事例をピックアップして紹介していく予定。</p>												
<p>今回確認事項</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="403 996 459 1077">①</td> <td data-bbox="459 996 1417 1077">前回の振り返り</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1077 459 1158">②</td> <td data-bbox="459 1077 1417 1158">アンケート結果の報告について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1158 459 1238">③</td> <td data-bbox="459 1158 1417 1238">前回の振り返り</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1238 459 1319">④</td> <td data-bbox="459 1238 1417 1319">今年度の部会の取り組みについて</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1319 459 1400">⑤</td> <td data-bbox="459 1319 1417 1400"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1400 459 1480">⑥</td> <td data-bbox="459 1400 1417 1480"></td> </tr> </table>	①	前回の振り返り	②	アンケート結果の報告について	③	前回の振り返り	④	今年度の部会の取り組みについて	⑤		⑥	
①	前回の振り返り												
②	アンケート結果の報告について												
③	前回の振り返り												
④	今年度の部会の取り組みについて												
⑤													
⑥													
<p>次回検討課題</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="403 1518 459 1599">①</td> <td data-bbox="459 1518 1417 1599">今年度の部会の取り組みについて</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1599 459 1680">②</td> <td data-bbox="459 1599 1417 1680">その他</td> </tr> </table>	①	今年度の部会の取り組みについて	②	その他								
①	今年度の部会の取り組みについて												
②	その他												
<p>次回開催日時</p>	<p>令和3年6月22日(火) 14:30～15:30</p>												
<p>次回会場</p>	<p>障害者福祉センター 大会議室</p>												

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第2回	ケアマネジメント部会
日 時	令和3年5月25日（火）14時30分～16時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明 (欠)	
② 脇本 浩行 (欠)	
③ 興梶 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	

(市職員)

① 野村 圭一	② 佐々木 和哉
③ 稲葉 亮	④ 長草 梨香

(事務局)

① 石川 博之	② 西岡 きくの
③ 橋本 花実	④ 福田 有輝
⑤ 野々山 勝己	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第3回	ケアマネジメント部会	
日時	令和3年6月22日（火）14時30分～16時30分		
会場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 7名	市職員 4名	事務局 5名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 インシデントプロセス法を用いた事例検討について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネ部会の取り組みについて。上半期（6月～9月）は、人材育成としてインシデントプロセス法の習得に向けて事業所への勉強会の実施。下半期（10月～3月）は、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けての取り組み内容を検討予定。</li> </ul> <p>2 インシデントプロセス法を用いた事例検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊谷先生を講師に、部会内でインシデントプロセス法についての講義と事例検討会を実施。2グループに分かれて手法について学ぶ。</li> <li>※今回の勉強会の内容を各事業所で持ち帰り事例検討会を実施予定。</li> </ul>		

今回確認事項	①	前回の振り返り
	②	インシデントプロセス法を用いた事例検討について
	③	
	④	
次回検討課題	①	インシデントプロセス法を用いた事例検討について
	②	その他
次回開催日時	令和3年7月27日（火） 14:30～16:00	
次回会場	障害者福祉センター 大会議室	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第3回	ケアマネジメント部会
日 時	令和3年6月22日（火）14時30分～16時30分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	
② 脇本 浩行	
③ 興梶 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	

（市職員）

① 野村 圭一	② 佐々木 和哉
③ 稲葉 亮	④ 長草 梨香

（事務局）

① 石川 博之	② 西岡 きくの
③ 橋本 花実	④ 福田 有輝
⑤ 野々山 勝己	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第 4 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 3 年 8 月 2 4 日 (火) 1 4 時 3 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分		
会 場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 5 名	市職員 3 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名 : 別添名簿のとおり ) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 第 1 回障害者自立支援協議会について		
	3 インシデントプロセス法を用いた事例検討について		
	4 その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 月の部会が中止のため、6 月振り返り。インシデントプロセス法を用いた勉強会について。熊谷先生を講師に、講義と事例検討会を実施。2 グループに分かれて、部会内でその手法について学ぶ。今回のインシデントプロセス法については、事業所で持ち帰り、各事業所で事例検討会を行う予定となる。</li> </ul> <p>2 第 1 回障害者自立支援協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 月 2 9 日に実施し、昨年度の部会報告を行う。原則毎月 1 回、計 9 回開催。検討課題として、障害福祉サービス従事者へのアンケート実施、社会資源マップの検討。今年度は、「人材育成」と「地域包括ケアシステムの検討」をテーマとして、年度前半は、インシデントプロセス法という手法を部会で学び、各事業所にて活用することでサービス従事者の育成を行う。年度後半</li> </ul>		

では、平成29年に新たな理念として明確にされた「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について部会で取り上げ、精神障害の方が地域でともに暮らせる取り組みについて検討予定。

### 3 インシデントプロセス法を用いた事例検討について

(各事業所で実施した感想、課題等の報告)

- ・レジデンス日進：ポイントとなるやり直しの視点について、ポイントからズレた課題となってしまった。ファシリテーターとして、話を修正するのか、または気づいてもらうのか、その判断が難しかった。
- ・愛歩：毎日ケース会議を行っている。困りごとについては、職員共通の認識がある。話が批判的になってしまうことがあったので、批判的にならないことを徹底したかったが、その部分での徹底が難しいと感じた。
- ・あんじゅ：利用者が100名以上おり、全く知らない方の検討会を行ったことがなかったため利用者を知る良いきっかけとなった。気楽に意見交換ができてスタートとしては良かった。どうしても内容を脱線してしまい、軌道修正が難しいと感じた。
- ・ハーモニー：内容を脱線しがちになってしまった。司会者として、どのように進めていくのか、まとめていくことが問題だった。インシデントプロセス法について、しっかり把握していないことが問題だった。内容を外れて、取りまとめができなかった。もっと内容を整理して行うことができるとよかった。ファシリテーターとして、どのように進めていくかが問題。しかし、実際に行い意味があった。
- ・ゆったり：普段の本人を客観的に伝え、聞く作業になった。自分1人で対応していこうと思わずに、みんなと協力してやっていたらいいと思え、1人で考えずみんなで小さなことでも対応方法の案を聞いた。  
とっさの判断をしなければいけない大変さを痛感した。  
1対1の対応ではなく、周りの環境や状況を踏まえて考えなくてはいけないと思った。
- ・熊谷先生より。流れを理解してファシリテーターが軌道修正が必要になる。そして、批判的・否定的にならないことを絶対に守ってもらうことが必要。軌道修正は、常に意識しながら行う。利用者をよく知っているのも意見がでない、というのは、職員のおごり。そのような思い込みは、固定的な利用者の見方になるため常に正していく必要がある。

	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の事例検討会についての事例の検討・事例選定（多数決）</li> <li>・事例発表（レジデンス日進）、ファシリテーター（興梠さん）</li> <li>・進め方としては、前回と同様な形で行う。</li> <li>・次回の部会時に勉強会を実施予定とする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
今回確認事項	① 前回の振り返り
	② 第1回障害者自立支援協議会について
	③ インシデントプロセス法を用いた事例検討会について
	④ その他
次回検討課題	① インシデントプロセス法を用いた事例検討について
	②
次回開催日時	令和3年9月28日（火） 14:30～16:00
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第4回	ケアマネジメント部会
日時	令和3年8月24日(火) 14時30分～15時00分	
会場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明 (欠)	
② 脇本 浩行	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢 (欠)	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	

(市職員)

① 野村 圭一	② 佐々木 和哉 (欠)
③ 稲葉 亮	④ 長草 梨香

(事務局)

① 石川 博之	② 西岡 きくの
③ 橋本 花実	④ 福田 有輝
⑤ 野々山 勝己	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第 5 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 3 年 1 0 月 2 6 日 (火) 1 4 時 3 0 分 ~ 1 6 時 0 0 分		
会 場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 7 名	市職員 3 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名 : 別添名簿のとおり ) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 インシデントプロセス法を用いた事例検討について		
	3 その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 月の部会が中止のため、8 月振り返り。</li> <li>・ 第 1 回障害者自立支援協議会について</li> <li>・ インシデントプロセス法を用いた事例検討について</li> </ul> <p>2 インシデントプロセス法を用いた事例検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファシリテーター : 興梶さん、事例提供者 : 脇本さん、助言者 : 熊谷さんにて実施。2 グループに分かれて手法について学ぶ。</li> </ul> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回部会は 1 1 月 2 2 日 (月) 開催。(1 1 月 2 3 日は祝日の為)</li> <li>・ 事例検討会はもう 1 回部会内で実施し、次回は現場職員にも参加してもらえるとよいか。内容は、コア会議にて確認とする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>		

今回確認事項	①	前回の振り返り
	②	インシデントプロセス法を用いた事例検討について
	③	その他
	④	
次回検討課題	①	インシデントプロセス法を用いた事例検討について
	②	その他
次回開催日時	令和3年11月22日(月) 14:30～16:00	
次回会場	障害者福祉センター 大会議室	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第5回	ケアマネジメント部会
日 時	令和3年10月26日（火）14時30分～16時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	
② 脇本 浩行	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里	
⑦ 熊谷 豊	

（市職員）

① 野村 圭一 （欠）	② 佐々木 和哉
③ 稲葉 亮	④ 長草 梨香

（事務局）

① 石川 博之	② 西岡 きくの
③ 橋本 花実	④ 福田 有輝
⑤ 野々山 勝己	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第 6 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 3 年 1 1 月 2 2 日 (月) 1 4 時 3 0 分 ~ 1 6 時 1 5 分		
会 場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 5 名	市職員 2 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名 : 別添名簿のとおり ) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 インシデントプロセス法を用いた事例検討について		
	3 その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	1 前回の振り返り ・インシデントプロセス法を用いた事例検討会を実施		
	2 インシデントプロセス法を用いた事例検討について ・ファシリテーター：脇本さん、事例提供者：改田さん、助言者：熊谷さんにて実施。その手法について学ぶ。		
	3 その他 ・次回部会は、地域福祉課のスケジュールにより 1 2 月 1 3 日、1 6 日、2 0 日いずれかで実施予定。日程確認でき次第、部会員に連絡とする。		
	※調整後、1 2 月 1 6 日 (木) 1 4 : 3 0 ~ 開催予定となる。 以上		

今回確認事項	①	前回の振り返り
	②	インシデントプロセス法を用いた事例検討について
	③	その他
	④	
次回検討課題	①	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて
	②	その他
次回開催日時	令和3年12月16日(木)	
次回会場	障害者福祉センター 大会議室	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第5回	ケアマネジメント部会
日 時	令和3年11月22日（月）14時30分～16時15分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明 （欠）	松尾さんの代理として千葉さん出席
② 脇本 浩行	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢 （欠）	
⑤ 改田 真美	
⑥ 神谷 真里 （欠）	
⑦ 熊谷 豊	

（市職員）

① 野村 圭一 （欠）	② 佐々木 和哉
③ 稲葉 亮 （欠）	④ 長草 梨香

（事務局）

① 石川 博之	② 西岡 きくの
③ 橋本 花実 （欠）	④ 福田 有輝
⑤ 野々山 勝己	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第7回	ケアマネジメント部会	
日時	令和3年12月16日(木) 14時30分 ~ 15時45分		
会場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 3名	市職員 3名	事務局 5名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り ( 名：別添名簿のとおり ) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について		
	3 その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデントプロセス法を用いた事例検討会を実施。勉強会は一旦、終了となる。</li> </ul> <p>2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉課：野村さんより、第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画成果目標「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について」（以下、「にも包括」）の説明。</li> <li>・「にも包括」とは、精神障害者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保されたシステム。介護保険の地域包括ケアシステムを参考。</li> <li>・「にも包括」の対象として、メンタルヘルスの問題を含めると住民全体が対象となる。（メンタルヘルスの不調がある人/精神障害がある人/精神障害があり、福祉・介護等の包括的支援が必</li> </ul>		

要な人（長期入院の人を含む）

・「にも包括」の構築に係る基本的な事項について

① 「にも包括」の基本的な考え

精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、重層的な連携による支援体制を構築。地域共生社会の実現に資する各種の取組みとの連携を図り、地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築にも寄与するものであり、地域共生社会の実現に向かっていく上では欠かせないもの。

② 重層的な連携による支援体制の考え方と構築

精神障害を有する方等（以下「精神障害者」）一人ひとりの「本人の困りごと等」に寄り添い、本人の意志が尊重されるよう情報提供等やマネジメントを行い、適切な支援を可能とする体制。日常生活圏域を基本として、市町村などの基礎自治体を基盤として進める。精神障害者の「本人の困りごと等」やそれに対する支援の積み重ね（個別支援）が不可欠。個別支援に共通する課題から地域課題を抽出し、様々な立場の者が協働し議論することが基本となる。

③ 普及啓発の推進

精神疾患や精神障害に関する普及啓発を推進することは、「にも包括」において最も重要な要素の一つ。メンタルヘルス・ファーストエイドの考え方を活用する等普及啓発の方法を見直し、態度や行動の変容までつなげることを意識した普及啓発の設計が必要。

・「にも包括」を構成する要素

① 地域精神保健及び障害福祉

○市町村は精神障害者や地域住民の身近な窓口として、地域精神保健活動の相談指導等の充実。

○精神障害者の「地域生活」を支えるものであり、身近な所で必要な時に適切な支援が提供される。市町村において、精神保健も含めた相談指導等を精神保健に関わる業務上の位置づけを見直し、積極的に担える環境整備を行うべき。

○長期在院者に対する支援は、地域の体制整備や福祉の課題でもあることから、市町村等と精神科病院、精神保健医療福祉に携わる地域の関係機関と連携し、長期入院者に対し、利用可能な制度や障害福祉サービス等に関する説明及び支援等を行う取組みを制度上位置付けることが必要。

○保健所や市町村保健センターからの訪問等による支援の充実に資することや自宅等への訪問支援を行う専門職等から構成されるチームを編成し訪問支援の充実に取り組む。

② 「にも包括」における精神医療

○ケースマネジメントを含む、いわゆる「かかりつけ精神科医」機能を果たすこと/地域精神医療における役割を果たすこと/精神科救急医療体制に参画すること/にも包括に質する拠点機能を果たすことが求められる。

○市町村や保健所の精神保健相談や訪問支援へ積極的な協力、精神障害者の退院後支援の充実のため協議の場へのさらなる参画や退院支援委員会等を活用した地域援助事業者等と連携強化、市町村等と連携した長期在院者への支援。

③住まいの確保と居住支援の充実、居住支援関係者との連携

○住まいの確保はもとより生活全体を支援するという考え方である「居住支援」の観点を持つことが必要。

○入居者の安心と賃貸住宅の貸し主、不動産業者の安心の確保が求められ、居住支援協議会を通じた居住支援者との連携の強化が重要。

④ つながりのある地域づくりと社会参加の推進

○社会参加の前提が、いかにして社会から孤立しないで済むようにするか、また、孤立している方々が社会とつながりたいときにつながるができるという観点でも仕組みの構築が必要。地域で孤立しないように支援や助言等を行うことができる機能が求められる。

⑤ 当事者・ピアサポーター

○意志や選択が尊重され、必要な時に適切な支援が受けられる体制であることが重要であり、体制構築にピアサポーターや精神障害者等の参画を求めていく。

○ピアサポーターの特性を活かし、精神障害者を尊重して支援を実施するだけでなく、精神保健医療福祉に関わる多職種との協働により専門職等の当事者理解の促進及び意識の変化や支援の質の向上、普及啓発や教育、精神保健相談、意思決定支援等に寄与することが期待される。

⑥ 精神障害者等の家族

○市町村等は家族同士の交流の機会や場を提供するなど、家族支援に対し更なる取組みの推進を図ることも重要であり、精神保健医療福祉関係者が家族を支援する視点を持つことも必要。

○市町村等は、協議の場に精神障害者の家族の参加を推進し、家族のニーズを踏まえた家族支援の体制について話し合い、分かりやすい相談窓口を設置していく等の取組みの推進が求められる。

⑦ 人材育成

○市町村における精神保健に関する精神保健に関する相談指導等の充実のため、精神保健相談に対応できる人材の確保が必要。

○精神障害者を支援するものを育成観点と、地域住民とともに

学び合い地域づくりを推進する「その生活圏の人づくり」の観点から、地域に必要な人材をイメージし、地域の関係者との共有が重要。

○介護・高齢者福祉、生活困窮者支援、児童福祉や母子保健、教育、労働、住宅等、市町村の行う各相談業務にあたる職員に対する精神疾患や精神障害に関する知識や対応力の向上を図る研修も必要。

・「にも包括」構築のプロセス

① 地域アセスメントの実施・共有

↓

② (個別事例の積み重ね等による) 地域課題の抽出

↓

③ 地域のビジョンと具体的な目標の設定

↓

④ 個別支援に質する協議及び地域支援体制構築の検討

↓

⑤ 目標達成に向けたロードマップ作成

↓

⑥ 成果の評価と改善

※部会では、まずは①②について検討。

※今後、保健所と協働する必要性から精神保健福祉に関して保健所の役割理解を進めていく予定。そのため、保健所の役割について共有できる機会をつくる。

### 3 その他

・次回部会は、年間スケジュールでは令和4年1月25日(火)開催であったが当日、市役所監査のため、改めて日程を調整とする。

以上

今回確認事項

① 前回の振り返り

② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について

③ その他

④

次回検討課題

① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について

	② その他
次回開催日時	令和4年1月 日 ( ) ※次回開催は、後日調整予定。
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第7回	ケアマネジメント部会
日 時	令和3年12月16日(木) 14時30分～15時45分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明	
② 脇本 浩行 (欠)	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美 (欠)	
⑥ 神谷 真里 (欠)	
⑦ 熊谷 豊 (欠)	

(市職員)

① 野村 圭一	② 佐々木 和哉
③ 稲葉 亮 (欠)	④ 長草 梨香

(事務局)

① 石川 博之	② 西岡 きくの
③ 橋本 花実	④ 福田 有輝
⑤ 野々山 勝己	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第9回	ケアマネジメント部会	
日時	令和4年2月22日（火）14時30分～16時20分		
会場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 3名	市職員 4名	事務局 5名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り（名：別添名簿のとおり） ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他 来年度のケアマネ部会の検討内容について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	1 前回の振り返り ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて「にも包括」の基本的な考え方について地域福祉課より説明。構築プロセスより、まずは①地域アセスメントの実施・共有②課題抽出について検討していく。		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて ○「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る現状確認シート」において、日進市のこれまでの取組を確認する。 ・「利用者家族会」尾張東部圏域で実施。家族に情報提供や障害の勉強会を実施。		

- ・「一人暮らしの会」主な参加者は、ゆったり工房関係者。一人暮らしをしている方の悩みごとを共有し、支援につなげる。親亡き後を心配している方が多い。
  - ・「トータスゆったり」自助グループ。月に1回夕食会や学習会・リカバリーストーリー・当事者研究等実施。
  - ・「ピアによるフリースペース」地域の方に向けたフリースペースで名称：Hope。当事者が運営。  
第2土曜日 13：30～15：00 にぎわい交流館にて。  
研修を受けたファシリテーターが運営している。現在は主に茶話会形式で開催。
  - ・「地域移行部会マンガ」地域移行を分かりやすく伝えるマンガ・ノートのこと。愛知県ホームページに掲載されている。
- 地域移行における事例紹介。
- ・知的障害あり、妄想が見られる男性。グループホームを退去後、障害者マンションで一人暮らしを始めたケース紹介。
  - ・B型事業所に通い、朝・夕方にヘルパーを利用しながら生活。
  - ・妄想により外に出てしまい、所在不明となることがあるが、サービス外での職員の搜索・見守り体制があることで一人暮らしが可能となる。
  - ・問題点として、日曜日に入れるサービス事業者がない・所在不明となった時、対応する職員がいない・病気等、緊急時に対応する職員がいない等の問題がある。
- 3 その他 来年度のケアマネ部会の検討内容について
- ・昨年度のアンケート結果、「勉強会」と「交流会」の回答が多かった。インシデントプロセス法を学んだこともあり、ネットワーク勉強会を絡ませて人材育成をして、その手法の理解を深めていくことができると検討している。  
テーマとしては、「勉強会」と「にも包括」の2本立てはどうか。
  - ・部会では事例から問題を吸い上げて、反映していくことが求められる。2ヶ月に1回程度で事例をとり上げて地域課題を出していくことができるといいか。また、インシデントプロセス法を通じて人材育成ができるといいかもしれない。  
→上記内容を踏まえて来年度の内容を検討していく。
- ・次回部会は、ゆったり工房利用者の方より、話を伺うことが可能であれば、話をさせていただく。もしくは、事例紹介を予定。
- 以上

今回確認事項

① 前回の振り返り

	② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	③ その他 来年度のケアマネ部会の検討内容について
	④
	⑤
	⑥
次回検討課題	① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	② その他
次回開催日時	令和4年3月22日（火） 14：30～15：30
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第9回	ケアマネジメント部会
日 時	令和4年2月22日（火）14時30分～16時20分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明 (欠)	
② 脇本 浩行	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美 (欠)	
⑥ 神谷 真里 (欠)	
⑦ 熊谷 豊 (欠)	

(市職員)

① 野村 圭一	② 佐々木 和哉
③ 稲葉 亮	④ 長草 梨香

(事務局)

① 石川 博之	② 西岡 きくの
③ 橋本 花実	④ 福田 有輝
⑤ 野々山 勝己	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	野々山 勝己	市確認欄	
専門部会名	第9回	ケアマネジメント部会	
日時	令和4年2月22日（火）14時30分～16時20分		
会場	障害者福祉センター大会議室		
出席者	部会員 3名	市職員 4名	事務局 5名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り（名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討の内容	1 前回の振り返り		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて		
	3 その他 来年度のケアマネ部会の検討内容について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	1 前回の振り返り ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて「にも包括」の基本的な考え方について地域福祉課より説明。構築プロセスより、まずは①地域アセスメントの実施・共有②課題抽出について検討していく。		
	2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて ○「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る現状確認シート」において、日進市のこれまでの取組を確認する。 ・「利用者家族会」尾張東部圏域で実施。家族に情報提供や障害の勉強会を実施。		

- ・「一人暮らしの会」主な参加者は、ゆったり工房関係者。一人暮らしをしている方の悩みごとを共有し、支援につなげる。親亡き後を心配している方が多い。
  - ・「トータスゆったり」自助グループ。月に1回夕食会や学習会・リカバリーストーリー・当事者研究等実施。
  - ・「ピアによるフリースペース」地域の方に向けたフリースペースで名称：Hope。当事者が運営。  
第2土曜日 13：30～15：00 にぎわい交流館にて。  
研修を受けたファシリテーターが運営している。現在は主に茶話会形式で開催。
  - ・「地域移行部会マンガ」地域移行を分かりやすく伝えるマンガ・ノートのこと。愛知県ホームページに掲載されている。
- 地域移行における事例紹介。
- ・知的障害あり、妄想が見られる男性。グループホームを退去後、障害者マンションで一人暮らしを始めたケース紹介。
  - ・B型事業所に通い、朝・夕方にヘルパーを利用しながら生活。
  - ・妄想により外に出てしまい、所在不明となることがあるが、サービス外での職員の搜索・見守り体制があることで一人暮らしが可能となる。
  - ・問題点として、日曜日に入れるサービス事業者がない・所在不明となった時、対応する職員がいない・病気等、緊急時に対応する職員がいない等の問題がある。
- 3 その他 来年度のケアマネ部会の検討内容について
- ・昨年度のアンケート結果、「勉強会」と「交流会」の回答が多かった。インシデントプロセス法を学んだこともあり、ネットワーク勉強会を絡ませて人材育成をして、その手法の理解を深めていくことができると検討している。  
テーマとしては、「勉強会」と「にも包括」の2本立てはどうか。
  - ・部会では事例から問題を吸い上げて、反映していくことが求められる。2ヶ月に1回程度で事例をとり上げて地域課題を出していくことができるといいか。また、インシデントプロセス法を通じて人材育成ができるといいかもしれない。  
→上記内容を踏まえて来年度の内容を検討していく。
- ・次回部会は、ゆったり工房利用者の方より、話を伺うことが可能であれば、話をさせていただく。もしくは、事例紹介を予定。
- 以上

今回確認事項

① 前回の振り返り

	② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	③ その他 来年度のケアマネ部会の検討内容について
	④
	⑤
	⑥
次回検討課題	① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて
	② その他
次回開催日時	令和4年3月22日（火） 14：30～15：30
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第9回	ケアマネジメント部会
日時	令和4年2月22日(火) 14時30分～16時20分	
会場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 松尾 俊明 (欠)	
② 脇本 浩行	
③ 興梠 精視	
④ 椎葉 梢	
⑤ 改田 真美 (欠)	
⑥ 神谷 真里 (欠)	
⑦ 熊谷 豊 (欠)	

(市職員)

① 野村 圭一	② 佐々木 和哉
③ 稲葉 亮	④ 長草 梨香

(事務局)

① 石川 博之	② 西岡 きくの
③ 橋本 花実	④ 福田 有輝
⑤ 野々山 勝己	